

## 6. バルク貯槽の発生能力

### 6. 1 地中温度と充填時温度

地下埋設式縦型バルク貯槽の発生能力計算においては、地上設置式バルク貯槽の発生能力計算式における「外気温」に相当するパラメータを主として「地中温度」とし、「充填時液温」考慮している。これらのパラメータの設定方法について、本基準では以下の通りとする。

- ①地中温度は、バルク貯槽を設置した地区の実測データとする。  
尚、地中温度の参考データとして高圧ガス保安協会が実施したデータを解説3に掲載する。
- ②充填時液温は、バルク貯槽に充填した直後の液温とする。

### 6. 2 地下埋設式縦型バルク貯槽の発生能力

地下埋設式縦型バルク貯槽の発生能力計算結果については、充填時液相組成 $C_3H_8$ 分95mol%の場合を付表1及び付図1に、充填時液相組成 $C_3H_8$ 分90mol%の場合を付表2及び付図2に示す。尚、付表においては、発生能力の値と共にその計算条件における開始液温も併記するものとし、「充填液温」を「充填時液温」と読み替えるものとする。

又、参考データとして、地下埋設式縦型バルク貯槽の発生能力をその貯蔵量に対して表示した結果を付表3～付表4及び付図3～付図4に示すと共に、地下埋設式横型バルク貯槽の発生能力を付表5～付表6及び付図5～付図6に示す。

### 6. 3 本基準の利用

地下埋設式における縦型バルク貯槽と横型バルク貯槽の発生能力は、解説5における検討の通りほぼ同等の値と考えられるので、本基準の利用に当たっては、横型バルク貯槽の発生能力についても縦型バルク貯槽の発生能力（付表1～付表4及び付図1～付図4）を使用するものとし、横型バルク貯槽としての発生能力計算データについては参考3の範囲にとどめた。

## 制定日

本資料の制定日は、2000年7月1日とする。

## 改訂日

本資料の第1回改訂：2008年11月26日